

科目名		徒手理学療法学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科4年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 理学療法士は臨床において徒手療法を実施する場面も多い。 徒手療法には様々な方法があり、この授業ではそれらの基礎の習得を目的とする									
〔授業全体の内容の概要〕 PNF、スポーツ、腰痛に対する理学療法を中心に実技を交えて行う									
〔講師の実務経験〕 医療センターにて急性期から回復期リハビリテーションに理学療法士として7年間勤務									
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕 各項目における基礎的な知識と実技を習得する									
回数	講義内容								
1	腰部下肢骨盤帯の解剖学と運動学 触診を含めた基礎的実技								
2	問診とスクリーニング								
3	検査(神経症状の確認、ストレステスト、筋への検査)								
4	治療(モビライゼーション、スタビライゼーション、姿勢指導)								
5	PNFの理論								
6	PNFの実践								
7	スポーツにおける徒手療法								
8	スポーツにおける徒手療法								

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験にて評価する。